

講習プログラムの概要

Module (各1時間)	内容	備考
<u>Module 1</u> BLSの基礎についての講義 BLSの演習	1. 全員集合し講義とデモを行う 2. 各グループに分かれて演習 1) BLSの実際 *一連の流れを時間内で何度も実施する ①安全確認(安全の確認と感染防御) ②意識の確認 ③応援要請(人と物品を集める) ④呼吸をみる(脈の確認) ⑤心停止の判断 ⑥CPRの開始と胸骨圧迫 ⑦気道確保(頭部後屈顎先挙上)と人工呼吸 2) 気道異物除去 3) 体位管理: 体位交換(腹臥位から仰臥位)と回復体位	全員を対象とした講義は15分程度とし、各グループでの演習を主体とする
<u>Module 2</u> 心電図、AED(除細動)、 気道管理の演習	1. 心電図波形(除細動を行うために必要な不整脈の知識の確認) 2. AED(取り扱いと注意点) ●マニュアル除細動器の取り扱いをAED(除細動)ブースとして組み込んでも可 3. バッグ・バルブ・マスク(BVM)換気 ●気管挿管を気道管理ブースとして組み込んでも可	ブースを2つに分け、オプション(●)の内容を入れることもできる。→この場合、AED(除細動)のブースと気道管理のブースに分けて行う(30分交代でそれぞれを演習する)
<u>Module 3</u> 演習(BLS-AED一連の流れ)	AED使用を含めた一連のシミュレーションをおこなう ①インストラクターによるデモンストレーション ②簡単なシナリオを使用して、発見からAEDを使用してVFから自己心拍が再開するところまで行う。 ③第1発見看護師役、AEDを持ってくる応援看護師役を設定。 ④Module1のスキルを確認。	
<u>Module 4</u> 演習(実践編)	1. 実践で考えられる状況を想定したシナリオを準備する(ベッドの下に倒れている、イスに座った状態で心肺停止しているなど) 2. 受講生は2人1組で入ってもらい、状況を判断して対処する 3. 全体のまとめ	色々なシナリオを設定する 教育目標に従い、進行・評価をする